



平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL <http://www.amuse.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 定時株主総会開催予定日 平成29年6月25日 配当支払開始予定日 平成29年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 平成29年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の連結業績（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	50,647	3.5	5,361	△10.4	5,233	△10.6	2,023	△42.9
28年3月期	48,924	24.8	5,983	52.5	5,855	44.0	3,543	32.6

(注) 包括利益 29年3月期 1,597百万円 (△54.2%) 28年3月期 3,487百万円 (21.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年3月期	117.24	—	8.8	14.1	10.6
28年3月期	205.29	—	17.1	17.9	12.2

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 △5百万円 28年3月期 64百万円

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	38,206	25,102	61.7	1,366.09
28年3月期	35,848	24,223	62.2	1,291.93

(参考) 自己資本 29年3月期 23,578百万円 28年3月期 22,299百万円

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	5,504	△1,173	△738	20,535
28年3月期	8,252	△2,718	△403	16,598

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00	517	14.6	2.5
29年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00	439	21.3	1.9
30年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00		14.9	

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 特別配当 20円00銭

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。28年3月期については当該分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,400	△18.7	1,300	△45.6	1,320	△40.2	700	△42.2	40.56
通期	45,000	△11.2	4,400	△17.9	4,570	△12.7	2,900	43.3	168.02

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

29年3月期	18,623,520株	28年3月期	18,623,520株
29年3月期	1,363,630株	28年3月期	1,362,920株
29年3月期	17,260,340株	28年3月期	17,261,448株

- (注) 1. 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。
2. 平成29年3月期の期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式150,000株及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式150,000株が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年3月期の個別業績（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	39,348	△6.1	3,058	△43.9	3,211	△41.5	1,588	△52.5
28年3月期	41,923	36.2	5,447	69.0	5,492	51.3	3,346	64.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期	92.03	—
28年3月期	193.88	—

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	32,320	22,151	68.5	1,283.41
28年3月期	31,258	21,110	67.5	1,223.05

(参考) 自己資本 29年3月期 22,151百万円 28年3月期 21,110百万円

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年5月17日(水)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(追加情報)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	48,924	50,647	1,723	3.5
営業利益	5,983	5,361	△621	△10.4
経常利益	5,855	5,233	△621	△10.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,543	2,023	△1,520	△42.9

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入506億4千7百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益53億6千1百万円（前年同期比10.4%減）、経常利益52億3千3百万円（前年同期比10.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益20億2千3百万円（前年同期比42.9%減）となりました。大型コンサートツアーの減少やプレイスマネジメント事業の低調による減収減益要因はありましたが、大型パッケージ発売、新譜・旧譜印税などの音楽事業、多様なアーティストを展開した出演・CM事業、ファンクラブとアーティストグッズの機能を併せ持つ会員向けグッズ販売など、その他事業が好調に推移いたしました。また、アパレル事業をはじめ、新規連結子会社増加もありました結果、全体では若干の増収となり、営業利益、経常利益は若干の減益となっております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、プレイスマネジメント事業用資産の一部について、収益性の低下に伴う減損損失を計上しており減益となりました。

＜営業収入＞

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が減少
- ・ レーベル収入、印税収入（新譜・旧譜）など音楽事業収入が増加
- ・ 出演収入・CM収入が増加
- ・ ファンクラブ収入が増加
- ・ 新規連結子会社が増加（主にアパレル事業）
上記要因などにより若干の増収となりました。

＜営業利益、経常利益＞

イベント収入（大型コンサートツアー）の減少やプレイスマネジメント事業が低調でありましたが、その他事業が好調に推移したため若干の減益となりました。

＜親会社株主に帰属する当期純利益＞

減損損失の計上により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	41,349	43,494	2,144	5.2
メディアビジュアル事業	2,238	1,712	△526	△23.5
コンテンツ事業	2,631	3,202	571	21.7
プレイスマネジメント事業	2,704	2,238	△466	△17.2
合計	48,924	50,647	1,723	3.5

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	6,330	5,718	△611	△9.7
メディアビジュアル事業	54	62	7	12.9
コンテンツ事業	973	1,376	402	41.4
プレイスマネジメント事業	△519	△1,022	△502	—
調整額	△855	△773	82	—
合計	5,983	5,361	△621	△10.4

【アーティストマネジメント事業】

営業収入434億9千4百万円(前年同期比5.2%増)、セグメント利益57億1千8百万円(前年同期比9.7%減)となり、増収減益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入: <コンサート>
 - ONE OK ROCKの渚園野外ライブ(9月)・アリーナツアー(2-3月)
 - Perfume(5-11月)
 - SEKAI NO OWARIツアー(4-6月)・(1-2月)
 - 福山雅治のファンクラブイベント東京ドーム公演(9月)・年末ライブ(12月)
 - BABYMETALのウエンブリー公演(4月)・東京ドーム公演(9月)
 - 桑田佳祐の年末ライブ(12月)、ポルノグラフィティの横浜スタジアムライブ(9月)
 - 高橋優(12-3月)、BEGIN(1-3月)、Mayday武道館ライブ(2月)
 - <舞台・公演>
 - 熱海五郎一座「ヒミツの仲居と曲者たち」(6月)
 - ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」日本版・来日版(7-11月)
 - 黒執事(11-12月)
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、ONE OK ROCK(アルバムCD、ライブDVD)
- BABYMETAL(アルバムCD、ライブDVD)
- ・ ファンクラブ収入: 星野源(会員向けグッズ)、DEAN FUJIOKA(新規FC)、その他既存FC
- ・ 印税収入(新譜): サザンオールスターズ(ライブDVD)、Perfume(アルバムCD)
- BABYMETAL(アルバムCD)、星野源(シングルCD)
- ・ 出演収入・CM収入: 福山雅治、大泉洋、佐藤健、DEAN FUJIOKA、吉高由里子、桑田佳祐など

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートツアー)が減少
 - (前年同期はサザンオールスターズ(4-8月)、ONE OK ROCK(5-9月)、ポルノグラフィティ(9-12月)、星野源(1-3月)のコンサートツアー、SEKAI NO OWARIスタジアムライブ(7月)、福山雅治のスタジアムライブ(8月)・年末ライブ(12月)、地球ゴージャス(1-3月)、TEAM NACS(7-9月)などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入(レーベル収入)が増加
 - (前年同期は福山雅治アルバム・シングルCD、ライブDVD、ONE OK ROCKライブDVD)
- ・ ファンクラブ収入が増加、出演収入・CM収入が増加
- ・ 印税収入(新譜)が増加
 - (前年同期はサザンオールスターズ、Perfume、BABYMETAL、星野源)
- ・ 新規連結子会社(主にアパレル事業)が増加

上記要因などにより若干の増収となりました。

<セグメント利益>

イベント収入(大型コンサートツアー)の減少はありましたが、その他事業が好調に推移したことにより若干の減益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入17億1千2百万円(前年同期比23.5%減)、セグメント利益6千2百万円(前年同期比12.9%増)となり、減収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入：福山雅治主演映画「SCOOP!」・ドラマ「ラヴソング」
TEAM NACS 舞台「悪童」などのDVD販売収入
音楽パッケージ販売手数料(主にONE OK ROCK関連)
- ・ 映像製作収入：神木隆之介が主演声優を務めたアニメ映画「君の名は。」劇場配給分配収入
安田顕主演映画「俳優 亀岡拓次」劇場配給分配収入
佐藤健主演映画「世界から猫が消えたなら」劇場配給分配収入
佐藤健・神木隆之介主演映画「バクマン。」劇場配給分配収入、DVD販売分配収入
深津絵里主演映画「岸辺の旅」劇場配給分配収入、DVD販売分配収入

<営業収入>

- ・ 新規大型作品の減少
(前年同期は「美女と野獣」、「天皇の料理番」、「映画 深夜食堂」などのDVD販売収入、「るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編」の劇場配給分配収入、DVD販売分配収入、「バクマン。」、「進撃の巨人 前編/後編」、「美女と野獣」の劇場配給分配収入など)

上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因による減益はありましたが、「君の名は。」劇場配給分配収入、音楽パッケージ販売手数料(主にONE OK ROCK関連)が好調であり増益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入32億2百万円(前年同期比21.7%増)、セグメント利益13億7千6百万円(前年同期比41.4%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

著作権印税、原盤印税の増加などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入22億3千8百万円(前年同期比17.2%減)、セグメント損失10億2千2百万円(前年同期は5億1千9百万円のセグメント損失)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ MILLIANの入場料収入、会場使用料収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入が低調であったため減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

	前連結会計年度 平成28年3月期	当連結会計年度 平成29年3月期	増減額
総資産 (百万円)	35,848	38,206	2,357
純資産 (百万円)	24,223	25,102	878
自己資本比率 (%)	62.2	61.7	△0.5
1株当たり純資産 (円)	1,291.93	1,366.09	74.16

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(総資産)

当連結会計年度末の総資産は382億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億5千7百万円増加いたしました。主な増加要因としましては、流動資産「現金及び預金」の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は131億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億7千9百万円増加いたしました。主な増加要因としましては、流動負債「営業未払金」の増加によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は251億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億7千8百万円増加いたしました。主な増加要因としましては、「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は61.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成28年3月期	当連結会計年度 平成29年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,252	5,504	△2,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,718	△1,173	1,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403	△738	△335
現金及び現金同等物の期末残高	16,598	20,535	3,937

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ39億3千7百万円増加し、当連結会計年度末には205億3千5百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は55億4百万円（前年同期は82億5千2百万円の獲得）となりました。

これは、主に法人税等の支払による資金減少要因はありましたが、営業債務の増加及び税金等調整前当期純利益計上に伴う資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億7千3百万円（前年同期は27億1千8百万円の使用）となりました。

これは、主に投資有価証券の取得及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億3千8百万円（前年同期は4億3百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの次期の業績見通しは、営業収入450億円（前年同期比11.2%減）、営業利益44億円（前年同期比17.9%減）、経常利益45億7千万円（前年同期比12.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益29億円（前年同期比43.3%増）を計画しております。

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	翌連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	50,647	45,000	△5,647	△11.2
営業利益	5,361	4,400	△961	△17.9
経常利益	5,233	4,570	△663	△12.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,023	2,900	876	43.3

<営業収入>

- ・ 大型ライブが減少
 - ・ CD等の新譜リリースが減少
 - ・ 新譜リリースと連動性が高い旧譜も減少
- 上記要因などにより、減収となる計画です。

<営業利益>

上記減収要因などにより、減益となる計画です。

<経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益>

経常利益については上記減益要因により減益に、
当期純利益については当期のような減損損失がないため増益となる計画です。

セグメントの業績見通しは、次のとおりであります。

[アーティストマネージメント事業]

減収減益となる計画です。

[主な事業]

- ・ イベント収入：<コンサート>
星野源（5-8月）、BABYMETAL（7-8月）、flumpool（9-12月）、
Perfume（6月）のコンサートツアーなど
<舞台・公演>
フェルサブルータ（8-9月）など
- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、佐藤健、桑田佳祐、吉高由里子など
- ・ 印税収入（新譜）：Perfume DVD、BABYMETAL DVDなど
- ・ ファンクラブ収入・商品売上収入：サザンオールスターズのファンクラブ会員収入、グッズなど

<営業収入>

- ・ 大型ライブが減少
 - ・ 新譜リリースが減少
- 上記要因などにより減収となる計画です。

<セグメント利益>

減収要因により減益となる計画です。

[メディアビジュアル事業]

増収増益となる計画です。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入：「続・深夜食堂」（5月）などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入：神木隆之介主演映画「3月のライオン」、福山雅治主演映画「三度目の殺人」などの劇場配給収入

<営業収入>

取扱い作品の増加などにより増収となる計画です。

<セグメント利益>

事業の収益性改善により増益となる計画です。

[コンテンツ事業]

減収減益となる計画です。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ボルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

新譜リリースの減少との連動や、配信市場の縮小などを見込み、減収となる計画です。

<セグメント利益>

減収要因により減益となる計画です。

[プレイスマネジメント事業]

営業収入は当期と同程度となり、赤字幅は縮小となる計画です。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入

<営業収入>

当期と同程度となる計画です。

<セグメント利益>

当期に実施した減損損失により減価償却費の負担が少なくなり、赤字幅縮小となる計画です。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,718,958	22,100,934
受取手形及び営業未収入金	4,255,930	4,641,009
商品及び製品	1,523,027	1,778,657
仕掛品	1,526,080	1,141,901
原材料及び貯蔵品	70,085	95,357
繰延税金資産	238,946	275,254
その他	1,214,614	1,677,139
貸倒引当金	△211,203	△145,568
流動資産合計	26,336,438	31,564,685
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,036,707	1,010,082
土地	1,486,752	1,528,824
リース資産(純額)	24,446	58,573
その他(純額)	916,038	193,368
有形固定資産合計	4,463,945	2,790,848
無形固定資産		
のれん	278,901	544,223
その他	216,165	231,880
無形固定資産合計	495,066	776,104
投資その他の資産		
投資有価証券	1,332,625	1,548,910
繰延税金資産	466,699	346,614
その他	2,721,247	1,383,122
貸倒引当金	△104,900	△204,159
投資その他の資産合計	4,415,672	3,074,488
固定資産合計	9,374,684	6,641,441
繰延資産		
開業費	137,044	—
繰延資産合計	137,044	—
資産合計	35,848,167	38,206,127

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	6,256,956	8,372,959
リース債務	8,711	37,822
未払法人税等	2,299,368	1,480,542
役員賞与引当金	46,500	29,000
返品調整引当金	8,000	5,000
ポイント引当金	23,752	18,461
繰延税金負債	—	2,404
その他	1,949,129	2,095,081
流動負債合計	10,592,418	12,041,271
固定負債		
リース債務	17,341	27,297
役員退職慰労引当金	16,308	16,308
退職給付に係る負債	970,581	976,564
繰延税金負債	—	5,552
その他	27,521	36,425
固定負債合計	1,031,753	1,062,149
負債合計	11,624,171	13,103,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,950	2,109,793
利益剰余金	19,932,496	21,179,696
自己株式	△934,917	△1,321,284
株主資本合計	22,280,353	23,556,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,664	45,262
為替換算調整勘定	△7,446	△22,696
その他の包括利益累計額合計	19,217	22,565
非支配株主持分	1,924,424	1,524,110
純資産合計	24,223,995	25,102,706
負債純資産合計	35,848,167	38,206,127

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業収入	48,924,282	50,647,773
営業原価	38,396,788	39,247,239
営業総利益	10,527,494	11,400,533
返品調整引当金戻入額	6,900	3,000
差引営業総利益	10,534,394	11,403,533
販売費及び一般管理費	4,550,901	6,041,973
営業利益	5,983,492	5,361,560
営業外収益		
受取利息	7,191	2,613
受取配当金	6,354	5,560
貸倒引当金戻入額	772	—
持分法による投資利益	64,011	—
受取手数料	16,109	7,860
保険解約返戻金	15	10,079
その他	35,224	55,025
営業外収益合計	129,679	81,138
営業外費用		
為替差損	120,237	32,094
事業組合投資損失	136,387	148,861
持分法による投資損失	—	5,667
その他	660	22,140
営業外費用合計	257,285	208,763
経常利益	5,855,886	5,233,934
特別利益		
投資有価証券売却益	57,217	—
その他	6,272	—
特別利益合計	63,490	—
特別損失		
投資有価証券評価損	66,265	6,546
減損損失	—	1,387,441
その他	3,899	102,054
特別損失合計	70,165	1,496,042
税金等調整前当期純利益	5,849,211	3,737,892
法人税、住民税及び事業税	2,437,557	2,080,173
法人税等調整額	△119,479	103,870
法人税等合計	2,318,077	2,184,044
当期純利益	3,531,133	1,553,848
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△12,528	△469,762
親会社株主に帰属する当期純利益	3,543,661	2,023,611

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純利益	3,531,133	1,553,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,123	18,597
為替換算調整勘定	△28,686	24,707
その他の包括利益合計	△43,810	43,305
包括利益	3,487,323	1,597,153
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,499,851	2,075,366
非支配株主に係る包括利益	△12,528	△478,212

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587,825	1,694,950	16,820,538	△929,731	19,173,582
当期変動額					
剰余金の配当			△388,401		△388,401
親会社株主に帰属する当期純利益			3,543,661		3,543,661
連結範囲の変動			△43,302		△43,302
自己株式の取得				△5,186	△5,186
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	3,111,957	△5,186	3,106,771
当期末残高	1,587,825	1,694,950	19,932,496	△934,917	22,280,353

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	41,787	21,240	63,027	1,938,214	21,174,824
当期変動額					
剰余金の配当					△388,401
親会社株主に帰属する当期純利益					3,543,661
連結範囲の変動					△43,302
自己株式の取得					△5,186
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△15,123	△28,686	△43,810	△13,790	△57,600
当期変動額合計	△15,123	△28,686	△43,810	△13,790	3,049,171
当期末残高	26,664	△7,446	19,217	1,924,424	24,223,995

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587,825	1,694,950	19,932,496	△934,917	22,280,353
当期変動額					
剰余金の配当			△564,718		△564,718
親会社株主に帰属する当期純利益			2,023,611		2,023,611
連結範囲の変動			△211,692		△211,692
自己株式の取得				△592,221	△592,221
自己株式の処分		385,001		205,854	590,856
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		29,842			29,842
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	414,843	1,247,200	△386,366	1,275,677
当期末残高	1,587,825	2,109,793	21,179,696	△1,321,284	23,556,031

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	26,664	△7,446	19,217	1,924,424	24,223,995
当期変動額					
剰余金の配当					△564,718
親会社株主に帰属する当期純利益					2,023,611
連結範囲の変動					△211,692
自己株式の取得					△592,221
自己株式の処分					590,856
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					29,842
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18,597	△15,250	3,347	△400,313	△396,966
当期変動額合計	18,597	△15,250	3,347	△400,313	878,710
当期末残高	45,262	△22,696	22,565	1,524,110	25,102,706

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,849,211	3,737,892
減価償却費	697,423	726,896
のれん償却額	41,464	155,866
繰延資産償却額	34,989	137,044
貸倒引当金の増減額(△は減少)	192,428	28,731
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	15,500	△17,500
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6,900	△3,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43,349	6,006
ポイント引当金の増減額(△は減少)	23,263	△5,291
受取利息及び受取配当金	△13,546	△8,173
持分法による投資損益(△は益)	△64,011	5,667
事業組合投資損益(△は益)	136,387	148,861
投資有価証券売却損益(△は益)	△57,217	—
投資有価証券評価損益(△は益)	66,265	6,546
減損損失	—	1,387,441
営業債権の増減額(△は増加)	258,536	△33,894
たな卸資産の増減額(△は増加)	△779,383	236,547
営業債務の増減額(△は減少)	997,081	2,010,890
未払消費税等の増減額(△は減少)	266,489	△154,184
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△152,607	△308,497
その他の流動負債の増減額(△は減少)	370,079	241,403
その他	266,966	135,888
小計	8,185,769	8,435,144
利息及び配当金の受取額	13,413	8,844
法人税等の還付額	483,757	—
法人税等の支払額	△430,897	△2,939,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,252,042	5,504,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,641,333	△500,353
定期預金の払戻による収入	4,549,300	1,059,087
有形固定資産の取得による支出	△939,233	△326,836
有形固定資産の売却による収入	131,159	—
無形固定資産の取得による支出	△89,349	△148,446
投資有価証券の取得による支出	—	△724,050
投資有価証券の売却による収入	63,038	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△356,458	△459,352
子会社株式の取得による支出	△355,216	—
子会社出資金の取得による支出	△200,000	—
関係会社株式の取得による支出	△29,890	—
貸付けによる支出	△12,173	△25,548
貸付金の回収による収入	231,374	42,912
その他	△69,694	△91,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,718,477	△1,173,607
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△150,000
長期借入金の返済による支出	—	△108,630
非支配株主からの払込みによる収入	16,000	131,173
自己株式の取得による支出	△5,186	△592,221
自己株式の売却による収入	—	590,856
配当金の支払額	△387,606	△578,859
非支配株主への配当金の支払額	△17,262	△38,535
その他	△9,013	7,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403,067	△738,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,970	△223,858
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,109,527	3,368,225
現金及び現金同等物の期首残高	11,327,663	16,598,135
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	160,944	569,091
現金及び現金同等物の期末残高	16,598,135	20,535,453

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。

そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としております。その事業の内容に応じて、「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」、「プレイスマネージメント事業」として分類しております。

「アーティストマネージメント事業」は、イベント収入(コンサート・イベント・舞台等の収入)、ファンクラブ・商品売上収入(アーティストグッズ等の企画・制作・販売収入、音楽作品の発売による収入、ファンクラブ会費収入)、出演収入・CM収入、印税収入(新譜:初回収益計上日より1年以内分)等であり、「メディアビジュアル事業」は、映像作品販売収入、映像製作収入、番組制作収入等であり、「コンテンツ事業」は、音楽・映像収入(旧譜:音楽は初回収益計上日より1年超経過分、映像は同2年超経過分)等であり、「プレイスマネージメント事業」は、入場料収入(テーマパーク・ライブハウス兼クラブ等の運営収入)、その他の収入(各種グッズの企画・制作・販売収入、飲食店収入等)等であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収入又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	41,349,431	2,238,706	2,631,319	2,704,824	48,924,282	—	48,924,282
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	79,551	210,755	242,331	87,670	620,308	△620,308	—
計	41,428,982	2,449,462	2,873,650	2,792,494	49,544,591	△620,308	48,924,282
セグメント利益	6,330,447	54,923	973,839	△519,814	6,839,396	△855,903	5,983,492
その他の項目							
減価償却費	210,487	3,887	18,519	423,499	656,394	41,029	697,423

当連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	43,494,398	1,712,123	3,202,615	2,238,635	50,647,773	—	50,647,773
セグメント間の 内部営業収入 又は振替高	107,956	419,522	383,474	54,647	965,602	△965,602	—
計	43,602,354	2,131,646	3,586,090	2,293,283	51,613,375	△965,602	50,647,773
セグメント利益	5,718,610	62,035	1,376,804	△1,022,386	6,135,065	△773,505	5,361,560
その他の項目							
減価償却費	166,212	4,367	20,246	481,557	672,384	54,512	726,896

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	33,740	164,565
全社費用※	△889,643	△938,070
合計	△855,903	△773,505

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

(2) その他の項目 減価償却費

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	41,029	54,512
合計	41,029	54,512

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る減価償却費であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	1,291.93	1,366.09
1株当たり当期純利益金額(円)	205.29	117.24

(注) 1. 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 「1株当たり純資産額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

3. 「1株当たり当期純利益金額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	3,543,661	2,023,611
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益金額(千円)	3,543,661	2,023,611
期中平均株式数(株)	17,261,448	17,260,340

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 減損損失

当連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

① 減損損失を認識した資産

(単位：千円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
事業用資産	建物 有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	Amusequest Tokyo Tower 有限責任事業組合	東京都港区	1,231,660
事業用資産	建物 有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	A-Live Entertainment Pte. Ltd.	シンガポール	155,780

② 減損損失の認識に至った経緯

Amusequest Tokyo Tower有限責任事業組合及びA-Live Entertainment Pte. Ltd.が運営するプレイスマネジメント事業用資産の一部につきまして、収益性の低下により、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を認識しております。

③ 減損損失の金額及び主な固定資産の種類ごとの金額の内訳

建物	798,102千円
有形固定資産(その他)	580,960千円
無形固定資産(その他)	8,378千円

④ グルーピングの方法

連結子会社につきましては、概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位にて資産のグルーピングを行っております。

⑤ 回収可能価額の算定方法

減損損失の測定における回収可能価額は、使用価値によっておりますが、Amusequest Tokyo Tower有限責任事業組合及びA-Live Entertainment Pte. Ltd.の事業用資産におきましては、将来キャッシュ・フローの見積額がマイナスとなる見込となったことから、当該事業用資産の帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。

(2) 役員の異動

役員の異動につきましては、本日付(平成29年5月12日)で公表いたしました「代表取締役・取締役・執行役員の異動のお知らせ」をご参照ください。